



〔映画上映会〕11/23(火・祝) 〔希望のリバイバル上映!〕

「地球交響曲 ガイアシンフォニー 第一番」

(1992年/監督:龍村仁/130分)

■料金/一般500円、学生以下無料
■上映時間/①10:00- ②13:00- ③16:00- ④19:00-

2010 特別企画

いのち 生命について考える

〔講演Ⅰ〕 11月14日(日) 午後2時

〈いのち〉の教育を考える

— 肯定と否定のダイナミズム —

岩田文昭 (大阪教育大学教授)

〔講演Ⅱ〕 11月21日(日) 午後2時

アニマルテクノロジーの世界

— ヒトの食料となる生命を見つめて —

佐藤英明 (東北大学大学院教授)

〔講演Ⅲ〕 11月27日(土) 午後2時

命は誰のものか

— 医療技術と人間の生命 —

香川知鼎 (山梨大学大学院医学部教授)

〔講演Ⅳ〕 12月5日(日) 午後2時

共に生きる生命のつながり

— 仏教の見方から —

竹村牧男 (東洋大学学長・文学部教授)

*講演会はすべて、入場無料。どなたでもご参加いただけます。
〔主催〕かほく市、石川県西田幾多郎記念哲学館



石川県 西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>
E-mail nishida-museum@city.kahoku.ishikawa.jp



交通アクセス

【車 利 用】北陸自動車道[金沢東IC]-国道159号線(約20分)
能登有料道路[白尾IC]-(約5分)

【JR 利 用】金沢駅-七尾線(約25分)-宇野気駅

【飛行機利用】小松空港-空港バス(約50分)-金沢駅-七尾線(約25分)-宇野気駅

2010 特別企画

いのち 生命について 考える

西田幾多郎は三十代で、日記に次のように書いています。

学問は、畢竟〔つまり〕
ライフのためなり
ライフが第一等のことなり
ライフなき学問は無用なり

「ライフ」は、人生、生活、そして生命のことです。また、六十代では次のようにエッセイに書いています。

我々の生命と考えられるものは
深い噴火口の底から吹き出される
大なる生命の焔という如きもので
なければならぬ

今年の西田哲学館の特別企画では、この「生命」について考えてみたいと思います。

難しくかまえる必要はありません。今回は、哲学講演会というよりも、西田哲学とは少し離れた一般向けの講演会です。

まったく異なった学問の分野で活躍され、それぞれの分野で、まさに「生命」に関わり、あるいは思索されてきた四人の講師に、魅力的な講演をしていただきます。

また、「生命」について感動し、考える、よいきっかけとなる映画も上映いたします。

生命のない学問は無用です。
この特別企画が、皆さまにとって、
生命のある学びの機会となれば幸いです。

講演Ⅰ	11月14日(日) 午後2時 「いのち」の教育を考える -肯定と否定のダイナミズム-
-----	---

岩田 文昭 (いわた ふみあき) 大阪教育大学教授

1958年生まれ。京都大学大学院修士課程(宗教学)修了、ルーヴアン大学高等哲学研究所留学。京都大学大学院博士課程満期退学。文学博士(京都大学)。単著に『フランス・スピリチュアリズムの宗教哲学』、共著に『現代宗教思想を学ぶ人のために』『宗教の根源性と現代Ⅰ』『宗教心理の探究』『九鬼周造の世界』『岩波講座 宗教のゆくえ10』『ベルクソン読本』『学校での「自殺予防教育」を探る』、論文に「西田の生命論といのちの教育」「いのち教育の原理と課題 序説」「学校教育における(死)―小学校国語教科書にみる死生観―」等。

講演Ⅱ	11月21日(日) 午後2時 「アニマルテクノロジーの世界 -ヒトの食料となる生命を見つめて-
-----	--

佐藤 英明 (さとう えいめい) 東北大学大学院教授

1948年生まれ。京都大学大学院(農学)修了。京都大学助教授、東京大学医科学研究所助教授を経て、現職。農学博士(京都大学)。東北大学ディスティンディングイシュープロフェッサー(特に優れた業績をあげ先導的な役割を果たしている教授)。紫綬褒章受章者。専門は、動物生殖科学・動物発生工学。単著『アニマルテクノロジー』『哺乳類の卵細胞』『畜産学の視点―畜産学の立脚点を考える』、編著『動物生殖学』、共編著『卵子研究法』『動物発生工学』、対談に「ヒトとともに生きる動物たち―アニマルサイエンス」を語る」等。

講演Ⅲ	11月27日(土) 午後2時 「命は誰のものか -医療技術と人間の生命-
-----	---

香川 知晶 (かがわ ちあき) 山梨大学大学院医学部教授

1951年生まれ。筑波大学大学院博士課程修了後、現職。東京大学・青山大学・明治大学の非常勤講師。専門は、フランス哲学、生命倫理学。単著に『命は誰のものか』『生命倫理の成立 人体実験・臓器移植・治療停止』『死ぬ権利 カレン・クインラン事件と生命倫理の転回』『逆説 パラドックスの面白さがわかる本』、共編著『ケア従事者のための死生学』『いのちの選択―今、考えたい脳死・臓器移植―』『メタバイオエシックスの構築―生命倫理を問いなおす―』『エピステモロジーの現在』『生命という価値―その本質を問う―』『生命倫理―21世紀のグローバル・バイオエシックス』『ケアの社会倫理学』等。

講演Ⅳ	12月5日(日) 午後2時 「共に生きる生命のつながり -仏教の見方から-
-----	--

竹村 牧男 (たけむら まきお) 東洋大学学長・文学部教授

1948年生まれ。東京大学大学院博士課程(印度哲学)中退。文化庁宗務課専門職員、三重大学助教授、筑波大学教授等を経て、現職。博士(文学)[東京大学]。共著に『共生のかたち―「共生学」の構築をめざして』、単著に『禅のこころ―その詩と哲学』『入門 哲学としての仏教』『禅と唯識―悟りの構造』『華嚴とは何か』『インド仏教の歴史』『大乘仏教入門』『般若心経を読みとく―仏教入門の第一歩』『仏教は本当に意味があるのか』『西田幾多郎と仏教―禅と真宗の根底を究める』『西田幾多郎と鈴木大拙―その魂の交流に聴く』等。

映画上映	11月23日(火・祝) 「地球交響曲 ガイアシンフォニー 第一番」1992年/監督:龍村仁/130分
------	---

西田哲学館では、2007年に第一番を上映してから、第二、三、四番と毎年「地球交響曲」を上映してきました。その中で、もっとも反響が大きく、再上映を望まれており、また、もっとも「生命」が直接のテーマとなっている第一番をリバイバル上映します。ひとつの生命体としての地球・ガイアにおいて、たがいに響きあう生命。「地球交響曲 第一番」は、この母なる星・地球の未来にとって、極めて示唆的で重要なメッセージを持っている世界の6人の人々をドキュメントしたオムニバス映画です。ぜひこの機会に、生命を感じさせる映像と音楽、そして魅力ある登場人物達に触れてください。

【登場人物】野澤重雄(植物学者)、ラインホルト・メスナー(登山家)、ダフニー・シェルドリック(動物保護活動家)、エンヤ(ミュージシャン)、鶴岡真弓(ケルト美術研究家)、ラッセル・シュワイクート(元宇宙飛行士)

■料金/一般500円、学生以下無料 ■上映時間/①10:00- ②13:00- ③16:00- ④19:00-

地球交響曲
ガイアシンフォニー